

平成 28 年 5 月 2 日(月)

平成 28 年 (2016 年) 熊本地震 緊急土砂災害調査について

(公社) 日本地すべり学会九州支部

支部長 福田 順二

(公社) 日本地すべり学会九州支部では、熊本地震による土砂災害の状況を把握し、今後求められる対応を検討するための調査団を派遣します。

1. 現地調査の概要

○調査団：

代表 中村 真也 (琉球大学)
岩部 司 (熊本高専)
松尾 竜也 (熊本県土木部河川港湾局砂防課)
平良 健 (")
藤野 修二 (日本地研 (株))
上妻 良昌 ((株) アイエステー)
鳥井 幹郎 (")
西窪 文敏 (国土防災技術 (株))
川嶋 睦義 (")

○調査期間：平成 28 年 5 月 3 日 (火) ～5 日 (木)

○調査予定地：

南阿蘇村河陽 (高野台), 南阿蘇村長野, 西原村小森 (大切畑), 御船町田代 (間所), 宇土市花園台町および御船町辺田見の土砂災害および不安定斜面の現場

2. 緊急現地調査の目的

○緊急現地調査の目的

地震により大規模な斜面崩壊や地すべりが発生し、人的被害が生じている。依然として余震が続いており、また、降雨量が多くなる時季を迎えることから、防災・減災のために緊急に対応を要する課題を抽出し、その具体的な方策を検討する必要がある。また、中長期的な対応の検討に当たっては、今回発生している土砂災害の現象を適切に理解することが重要となるので、その理解に必要な事項について、刻々と変化する現場において早急に調査を行うことが求められる。現地関係各機関と連携した緊急現地調査により、①防災・減災のための課題の抽出及びそれへの対策の検討に関して学術的技術的側面から知見を供与すること、②中長期的な対応の検討に必要な土砂災害の実態の理解に必要な事項について学術的調査を行うことを目的とする。

3. 熊本地震に関する当学会の取り組み状況

平成 28 年

- ・ 4 月 17 日～19 日 学会員による初動調査 (福岡 (新潟大学), 酒井 (防災科学技術研究所))
- ・ 4 月 18 日 緊急共同記者会見 (日本学術会議防災学術連携体)
- ・ 4 月 19 日～ 現地調査に係る情報収集
- ・ 4 月 26 日 現地調査に関する熊本県土木部河川港湾局砂防課との打ち合わせ
- ・ 5 月 2 日～5 日 現地調査 (代表 中村 (琉球大学))

問合せ先：

(公社) 日本地すべり学会九州支部 中村

tel 090-5086-6687, email s-naka@agr.u-ryukyu.ac.jp